

# 大阪市立自然史博物館新館天井改修その他工事

## 特記仕様書

(建築工事)

地方独立行政法人大阪市博物館機構

# 地方独立行政法人大阪市博物館機構 建築工事 特記仕様書

## 総則

### I. 共通事項

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記の■の仕様書による。
  - 「公共建築工事標準仕様書(28年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「標仕」という。)
  - 「公共建築改修工事標準仕様書(28年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「標改仕」という。)
  - 「建築物解体工事共通仕様書(24年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「解共仕」という。)
  - 「吹付けアスベスト等粉じん飛散防止処理工事仕様書(平成30年版)大阪市都市整備局監修」(以下、「アスベスト仕様書」という。)
  - 「公共住宅建設工事共通仕様書(22年度版)公共住宅事業者等連絡協議会編集」(以下、「公住仕」という。)
2. 本工事に電気設備工事及び機械設備工事等を包含する場合、それぞれの工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を適用する。
3. 建築基準法、消防法等の関係法令に基づく官公署その他の関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材、労務、資料等を提供すること。

### II. 特記事項

1. 項目は、■の付いたものを適用し、□は適用しない。
2. 特記事項は■の付いたものをすべて適用し、□は適用しない。
3. 本仕様書内の [ ] 内記載番号は下記による。
  - [標○.○.○] 内の表示番号は、標仕の当該項目・図または表を示す。
  - [改○.○.○] 内の表示番号は、標改仕の当該項目・図または表を示す。
  - [解○.○.○] 内の表示番号は、解共仕の当該項目・図または表を示す。
  - [ア○.○.○] 内の表示番号は、アスベスト仕様書の当該項目・図または表を示す。
  - [住○.○.○] 内の表示番号は、公住仕の当該項目・図または表を示す。

### III. 一般材料

1. 特記事項に記載された材料品名、品番等については品質の程度を示すものであり、使用にあたっては監督職員が同等と認めたものを使用する。

### IV. 委託監督員に関する事項

1. 監督職員に準ずるものとする。

### V. 施工中の安全確保

1. 同一現場で別契約の関連工事が行われる場合で、監督職員により労働安全衛生法に基づく指名を受けたときは、同法に基づく必要な措置を講ずること。

### VI. 火災保険等について

1. 工事請負契約書第48条第1項に基づく火災保険等については、「工事請負契約に関する提出書類一覧表(大阪市都市整備局)」に記載の「建築工事及び建築設備工事に必要な火災保険等について」による。

## 1章 一般共通事項

- 1. 設計図書の優先順位[標1.1.1][改1.1.1][解1.1.1]  
 下記の■印を対象とし、上位を優先とする。  
 ■ 質問回答書（補足事項説明書を含む。）  
 ■ 特記仕様書  
 ■ 図面  
 ■ 標準配筋要領図、鉄骨標準図  
 ■ 建築工事標準詳細図（公共建築協会）  
 ■ 標仕、標改仕、解共仕、アスベスト仕様書、公住仕  
 公共住宅標準詳細図集  
 ■ 建築学会標準仕様書
- 2. 工事に伴う緒手続き[標1.1.3][改1.1.3][解1.1.3]  
 水道・ガス・電気等の申請手続きは一切受注者が行うこと。（設備の改廃手続き及び道路交通法、災害手続き等を含む）
- 3. 工事实績情報の登録（CORINS登録）[標1.1.4][改1.1.4][解1.1.4]  
 請負金額（設計変更含む）が500万円（税込み）以上の工事について、（財）日本建設情報総合センターによるコリンズ登録を、次に示す期間内に行うこと。
- |              |               |
|--------------|---------------|
| (1) 工事受注時    | 契約締結後 10日以内   |
| (2) 登録内容の変更時 | 変更契約締結後 10日以内 |
| (3) 工事完成時    | 工事完成後 10日以内   |
- 上記期間には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に定める国民の祝日等は含まない。変更時と、工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
- 4. 施工体制台帳及び施工体系図の作成について[標1.1.5][改1.1.5][解1.1.5]  
 建設業者は、建設業法第24条の7の規定に基づき、施工体制台帳及び施工体系図を整備すること。
- 5. 関連工事と包含する工事  
 ■ 別契約の関連工事との取り合い  
 ■ 工事区分表による。  
 施工範囲  
 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチは本工事とする。  
 貫通孔、開口の型枠及びそれらの補強  
 本工事       別途工事  
 壁、天井の仕上げ及び下地材の切込み及び下地材の補強  
 本工事       別途工事  
 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受けること。
- 本工事に包含する工事  
 包含する範囲  
 解体工事       機械設備工事      (      )  
                    電気設備工事      (      )  
                    ガス設備工事      (      )  
                                                 (      )  
 上記以外       機械設備工事      (      )  
 の工事            電気設備工事      (      )  
                    ガス設備工事      (      )  
                                                 (      )
- 6. 工事写真等（新営工事、改修工事）[標1.2.4][改1.2.4]  
 撮影方法等は工事写真撮影要領による。
- 7. 電気保安技術者[標1.3.3][改1.3.3][解1.3.3]  
 ■ 適用する       適用しない

- 8. 施工条件[標1.3.5][改1.3.5][解1.3.5]  
 ■ 施工手順  図示  (図示以外監督職員及び施設責任者との協議による。)  
 ■ 施工時間  図示  (図示以外監督職員及び施設責任者との協議による。)  
 ■ 現場管理  
 現場代理人及び作業員は、施工業者指定の腕章等を着用すること。  
 ■ 工事説明  
 工事着手に先立ち、監督職員と打合せの上、工事説明会を行う。  
 ■ 建物管理者入居者への連絡  
 足場架組み、室内作業、その他、監督職員の指示する作業については、事前に建物管理者・入居者へ連絡すること。  
 ■ その他  図示  ( )
- 9. 発生材の処理等[標1.3.11][改1.3.12][解1.3.10]  
 引渡しを要するもの  
 引渡物品  図示  ( )  
 引渡場所  図示  ( )  
 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法  
 品名  図示  ( )  
 処理方法  図示  ( )  
 ■ 発生材のうち再資源化(再生処理)を図るもの  
 ■ コンクリート塊、アスファルト塊   
 上記以外については関係法令に基づき適正に処分すること。
- 10. 建設副産物対策の取組み  
 大阪市建設リサイクルガイドライン  
 本工事にあたっては、「大阪市建設リサイクルガイドライン」の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること。  
 なお、本ガイドラインは、大阪市ホームページを参照すること。
- 11. 排ガス対策型建設機械の使用  
 本工事においては、「道路運送車両法」及び「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)」を遵守するとともに、各法律の対象外となる「エンジン出力が8～19kWの小型建設機械」、「発動発電機や空気圧縮機等の可搬式建設機械」及び「オフロード法施行前の既生産車」を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械(第3次基準)指定制度」に基づき指定された排出ガス対策建設機械を使用するものとする。
- 12. 既存部への処置[改1.3.13]  
 工事施工に際し、既存部分を汚染又は破損した場合は、監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。

## ■ 13. 環境への配慮[標1.4.1][改1.4.1]

## □ 「大阪市グリーン調達方針」について

本工事において下記表の品目を使用する場合は、「大阪市グリーン調達方針」の判断基準に適合するものを使用する。

なお、「大阪グリーン調達方針」は、大阪市ホームページを参照すること。

分類	品目	除外する部位等
盛土材・埋戻し材等	建設汚泥再生処理土	
	土工用水砕スラグ	
	下水汚泥溶融スラグ混合改良土	
地盤改良材	地盤改良用鋼製スラグ	
コンクリート用スラグ骨材	高炉スラグ骨材	
アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物	
路盤・地業材	鉄鋼スラグ混入路盤材	
	再生骨材（再生クラッシュラン等）	
混合セメント	高炉セメント（基礎・地中梁）	
	高炉セメント（上記以外）	
コンクリート及び コンクリート製品	透水性コンクリート	
	下水汚泥溶融スラグ使用捨てコンクリート	
塗料	下塗用塗料（重防食）	
	高日射反射率塗料	
防水	高日射反射率防水	
舗装材	再生材料利用舗装用ブロック（焼成）	
	再生材料利用舗装用ブロック（プレキャスト無筋コンクリート製品）	
	バークたい肥	
園芸資材	下水汚泥コンポスト	
	浄水汚泥改良園芸用土	
タイル	陶磁器質タイル	
建具	断熱サッシ・ドア	
製材等	製材	
	集成材	
	合板	
	単板積層材	
フローリング	フローリング	
再生木質ボード	パーティクルボード	
	繊維板	
	木質系セメント板	
ビニル系床材	ビニル系床材	
断熱材	断熱材	
配管材	排水用再生硬質ポリ塩化ビニル管	
コンクリート用型枠	再生材利用型枠	
	合板型枠	
建設機械	排出ガス対策型建設機械	
	低騒音型建設機械	
舗装	排水性舗装	
	透水性舗装	
屋上緑化	屋上緑化	

- 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能等を有するものとし次の■を満たすものとする。
  - I. 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
  - II. 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
  - III. 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
  - IV. 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
  - V. I、III及びIVの建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等はホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
  - VI. 室内に面する建築材料（天井裏含む）は、I～Vに記載の化学物質に加え、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。

- 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次の通りとする。

- 規制対象外

- I. JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- II. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
- III. 下記表示のあるJAS規格品
  - ① 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
  - ② 接着剤等不使用
  - ③ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
  - ④ ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
  - ⑤ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
  - ⑥ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

- 第三種

- I. JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- II. 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
- III. 旧JIS規格のE○規格品
- IV. 旧JAS規格のF c o規格品

居室の内装材にあつては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/Lであること。

- アスベスト含有建材

本工事に使用する材料については、[標1.3.10(b)]に準じて、安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

- 14. 建築材料[標1.4.2][改1.4.2]

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者は、次のIからVIの事項を満たすものとする。

- I. 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- II. 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- III. 安定的な供給が可能であること。
- IV. 法律で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
- V. 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- VI. 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（一社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

□ 15. 技能士[標1.5.2][改1.6.2]

新営等工事	
工事種目（職種）	技能検定作業
<input type="checkbox"/> 仮設工事	<input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> 鉄筋工事	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋組立て作業
<input type="checkbox"/> コンクリート工事	<input checked="" type="checkbox"/> 型枠工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート圧送工事作業
<input type="checkbox"/> 鉄骨工事	<input type="checkbox"/> 構造物鉄工作業 <input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> ブロック及びALC <sup>®</sup> 補工事	<input type="checkbox"/> コンクリートブロック工事作業 <input type="checkbox"/> エーエルシー <sup>®</sup> 補工事作業
<input type="checkbox"/> 防水工事	<input type="checkbox"/> アスファルト防水工事作業 <input type="checkbox"/> ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> アクリルゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> 合成ゴム系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> 塩化ビニル系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> セメント系防水工事作業 <input type="checkbox"/> シーリング防水工事作業 <input type="checkbox"/> FRP防水工事作業 <input type="checkbox"/> 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
<input type="checkbox"/> 石工事	<input type="checkbox"/> 石張り作業
<input type="checkbox"/> タイル工事	<input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 木工事	<input type="checkbox"/> 大工工事作業
<input type="checkbox"/> 屋根及び樋工事	<input type="checkbox"/> 内外装板金作業 <input type="checkbox"/> かわら葺き作業
<input type="checkbox"/> 金属工事	<input type="checkbox"/> 鋼製下地工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業
<input type="checkbox"/> 左官工事	<input type="checkbox"/> 左官作業
<input type="checkbox"/> 塗装工事	<input type="checkbox"/> 建築塗装作業
<input type="checkbox"/> 建具工事	<input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業 <input type="checkbox"/> 自動ドア施工作業
<input type="checkbox"/> カーテンウォール工事	<input type="checkbox"/> 金属製カーテンウォール工事作業 <input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業
<input type="checkbox"/> 内装工事	<input type="checkbox"/> プラスチック系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 壁装作業 <input type="checkbox"/> ボード仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> カーペット系床仕上げ工事作業
<input type="checkbox"/> 排水工事	<input type="checkbox"/> 建築配管作業
<input type="checkbox"/> 舗装工事	<input type="checkbox"/> 溶融 <sup>®</sup> イントハンド <sup>®</sup> マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 加熱 <sup>®</sup> イントマシン <sup>®</sup> マーカー工事作業
<input type="checkbox"/> 植栽工事	<input type="checkbox"/> 造園工事作業

改修工事	
工事種目（職種）	技能検定作業
<input type="checkbox"/> 防水改修工事	<input type="checkbox"/> アスファルト防水工事作業 <input type="checkbox"/> ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> アクリルゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> 合成ゴム系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> 塩化ビニル系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> セメント系防水工事作業 <input type="checkbox"/> シーリング防水工事作業 <input type="checkbox"/> FRP防水工事作業 <input type="checkbox"/> 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業
<input type="checkbox"/> 外壁改修工事	<input type="checkbox"/> 樹脂接着剤注入工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 建具改修工事	<input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業 <input type="checkbox"/> 自動ドア施工作業
<input type="checkbox"/> 内装改修工事	<input type="checkbox"/> 大工工事作業 <input type="checkbox"/> 鋼製下地工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業 <input type="checkbox"/> プラスチック系床仕上工事作業 <input type="checkbox"/> 壁装作業 <input type="checkbox"/> カーペット系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input type="checkbox"/> ボード仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 塗装改修工事	<input type="checkbox"/> 建築塗装作業
<input type="checkbox"/> 耐震改修工事	<input type="checkbox"/> 鉄筋組立て作業 <input type="checkbox"/> 型枠工事作業 <input type="checkbox"/> 構造物鉄工作業 <input type="checkbox"/> コンクリート圧送工事作業 <input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> 環境配慮改修工事	<input type="checkbox"/> 建築配管作業 <input type="checkbox"/> 溶融 <sup>®</sup> ペイントハンド <sup>®</sup> マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 加熱 <sup>®</sup> ペイントマシン <sup>®</sup> マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 造園工事作業

■ 16. 化学物質の室内濃度測定[標1.5.9][改1.6.9]

室内空气中化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、監督職員に報告書を提出すること。測定要領等は「化学物質の室内濃度測定仕様書」による。 ※測定結果については特急分析にて報告を行うこと。

対象室名	新営		計	室
	改修	ネイチャーホール	計	1 室
採取方法	<input checked="" type="checkbox"/> 拡散方式（パッシブ法） <input type="checkbox"/> 吸引方式（アクティブ法）			
測定物質	<input checked="" type="checkbox"/> ホルムアルデヒド <sup>®</sup> 、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン <input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド <sup>®</sup> 、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、アセトアルデヒド <sup>®</sup> <input type="checkbox"/>			
測定回数	<input type="checkbox"/> 新営工事 対象室 1回 <input checked="" type="checkbox"/> 改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> 対象室 事前・事後 各1回 <input type="checkbox"/> 対象室 事後 1回			

- 17. 完成時の提出図書[標1.7.1][標1.7.2][標1.7.3][標表1.7.1][改1.8.2][改表1.8.1]  
 完成図等（保全に関する資料を含む）の提出  要  不要  
 完成図の種類

- 附近見取図、配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表、埋設管図  
 設計図書と同等のもので監督職員の指示する事項を記載したもの  
 完成図の縮尺は原則1/300とし、埋設管の位置は外壁面からの寸法で表し、深さは現状GLからの深さとする。なお、原図はCADを用いて作成すること。  
 提出物及び提出部数

提出物	提出部数
原図のデータ (CD-R) ※	1部
出力図 (A3版背張り製本)	<input checked="" type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> ( ) 部
出力図 (A1カラー埋設配管図)	<input checked="" type="checkbox"/> 3部 <input type="checkbox"/> ( ) 部

※原図のデータは、作成した図面の「作成CADソフトのオリジナル形式データ」  
 + 「SXF形式データ」+ 「JWW形式データ」+ 「PDF形式データ」をCD-Rに  
 格納し提出すること。

- 18. 施工図[標1.7.2][改1.8.2]  
 工事完成後は、監督職員の指示する施工図の原図及びその陽面複写（1部）を製本の上、監督職員に提出する。  
 監督職員の指示による  提出する  提出しない

- 19. 責任施工保証期限  
 防水、シーリング材、吹付け材等は、責任施工とし、保証期限は下記の通りとする。

期間	保証対象
10年	アスファルト防水（屋外） 改質アスファルトシート防水
	合成分子系ルーフィングシート防水 複層仕上塗材（吹付け）
5年	アスファルト防水（屋内） 塗膜防水 弾性シーリング
	薄付け仕上塗材（吹付け） アンカーピンニング注入工法
	エポキシ樹脂注入工法 Uカットシーリング充填工法
	ユニットバス（シーリング含む） 防水パン
3年	ウレタン樹脂塗床材

その他

期間	保証対象

- 20. 労働安全衛生法第30条2項の指名について  
 労働安全衛生法第30条2項の規定に基づき、本工事受注者を同条第1項に規定する措置を講ずべき者として指名する。

- 21. その他  
 受注者は引渡し日から2年以内に本市がかし点検を行う場合は立会いをすること。  
 近隣家屋等事前調査  
 工事現場に隣接した家屋等の事前調査について、調査範囲は図示による。また、調査要領等は「近隣家屋等事前調査仕様書」による。  
 特別な材料の工法  
 標仕及び標改仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
 過積載防止対策については、「過積載防止対策要領」による。また「過積載防止対策要領」は、大阪市都市整備局ホームページを参照すること。  
 地質調査採取資料及び報告書は、完成時に長居公園内大阪市立自然史博物館第4研究所（TEL: 06-6697-6221）へ搬入すること。  
 階段（敷地の段差を解消するための階段を含む）の仕上げについて、段鼻は踏面及びけあげと、同調、明度を区別できるものとする。（大阪府福祉のまちづくり条例等参照）  
 提出書類  
 工事写真、材料出荷証明書等、監督職員の指示するものを提出すること。  
 工事完成時の提出書類は、ダンボール箱（A4B4版）に収納し提出すること。

- 22. 設計GL  
 図面番号 No. による。  
 現状地盤の平均高さとし、監督職員の指示による。

- 23. 施工数量調査および調査のための破壊部分の補修[改1.5.2][改1.5.3][解共1.4.2]  
 調査範囲及び調査方法  図示   
 破壊部分の補修  現状復旧する  図示



## □ 10. 仮設間仕切り [改2. 3. 2]

図示 (仮設間仕切り等の種別については、下表による)

種別	下地	仕上材 (厚さ:mm)	充填材	塗装
<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> 軽量鉄骨	<input type="checkbox"/> 合板 <input checked="" type="checkbox"/> 9.0 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> グラスウール32kg t50	<input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> 木下地	<input checked="" type="checkbox"/> PB <input type="checkbox"/> 9.5 <input checked="" type="checkbox"/> 12.5×2	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 片面
<input type="checkbox"/> C種	単管下地	防炎シート		

<input checked="" type="checkbox"/> 仮設扉	<input checked="" type="checkbox"/> 木製扉 <input type="checkbox"/> 鋼製扉	<input checked="" type="checkbox"/> 合板張り程度 <input type="checkbox"/> 片面フラッシュ程度	塗装 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	南京錠 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
---	---	--	--	---

## (改) 3章 防水改修工事

- 1. 一般事項[改3.1.3]  
降雨等に対する養生 ■ [改3.1.3](e)による □ 図示
- 2. 既存防水層の処理[改3.2.2] [改3.2.6] [改3.3.2] [改3.4.2] [改3.5.2]  
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ■ 図示  
架台回り等の欠損部の納まり部及び防水層末端部の納まり部 ■ 図示
- 3. アスファルト防水  
材料 [改3.3.2]  
改質アスファルトルーフィングシートの種別及び厚さ  
■ 改表3.3.3～改表3.3.9による  
□ 図示  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種別及び厚さ  
■ 改表3.3.3～改表3.3.9による  
□ 図示  
押え金物の材質及び形状寸法 ■ アルミ製L-30x15x2.0程度 □ 図示  
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ  
JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き)  
□ 図示  
JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同等品も可とする。  
断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm  
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ  
JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号  
□ 図示  
JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。  
断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm  
絶縁用シート ■ 断熱材を含まない工法の場合はポリエチレンフィルム厚0.15mm以上  
断熱材を含む工法の場合はフラットヤンクロス(70g/m<sup>2</sup>程度)  
□ 発泡ポリエチレンシート □

## □ 屋根保護防水 [改3.3.3] [改表3.3.3] ～ [改表3.3.6]

工法	種別	立上り部保護の適用
□ P1B工法	□ B-1 ■ B-2 □ B-3	□ 乾式保護材 (図示)
□ P1BI工法	□ BI-1 ■ BI-2 □ BI-3	□ れんが押え ■ JISR1250 (普通れんが <sup>®</sup> 及び化粧れんが <sup>®</sup> ) □ 市販品のれんが又は市販品れんが形 □ コンクリートブロック (見え隠れ部)
□ T1BI工法	□ BI-1 ■ BI-2 □ BI-3	□ モルタル押え(図示)
□ P2AI工法	□ AI-1 ■ AI-2 □ AI-3	□ コンクリート押え(図示)
□ P2A工法	□ A-1 ■ A-2 □ A-3	□ なし

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

- 屋上排水溝 ■ 図示 □

## □ 屋根露出防水 [改3.2.5] [改3.3.3] [改表3.3.7] [改表3.3.8]

工法	種別	改修用トレン を設置する	脱気装置を 設置	既存表面の 仕上げ塗装 を除去	仕上塗料の 種類等※
<input type="checkbox"/> M4C工法	<input type="checkbox"/> C-1 <input checked="" type="checkbox"/> C-2 <input type="checkbox"/> C-3 <input type="checkbox"/> C-4	/	/	<input type="checkbox"/>	種類 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
<input type="checkbox"/> M3D工法	<input type="checkbox"/> D-1 <input checked="" type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4	/	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> POD工法	<input type="checkbox"/> D-1 <input checked="" type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> PODI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> M3DI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	/	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> M4DI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※ 本章において共通の凡例とする。  
 仕上塗料の種類  
 A：保護塗料 C：耐候性塗料 D：  
 仕上塗料の使用量 ■ 製造所の仕様による。

脱気装置の数量  図示  ルーフィング類製造所の指定  
 脱気装置の種類  SUS製  樹脂製  ルーフィング類製造所の指定  
 ルフトレ回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 [改3.3.4] (d) (vii)  
 図示

□ 屋上排水溝  図示 

## □ 屋内防水 [改3.3.3] [改表3.3.10]

工 法	種別	保護層の新 設	立上り部保護の適用
<input type="checkbox"/> P1E工法	<input type="checkbox"/> E-1 <input checked="" type="checkbox"/> E-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 乾式保護材 (図示) <input type="checkbox"/> れんが押え
<input type="checkbox"/> P2E工法	<input type="checkbox"/> E-1 <input checked="" type="checkbox"/> E-2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> JISR1250 (普通れんが <sup>®</sup> 及び化粧れんが) <input type="checkbox"/> 市販品のれんが又は市販品れんが形 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック (見え隠れ部) <input type="checkbox"/> モルタル押え <input type="checkbox"/> コンクリート押え <input type="checkbox"/> なし

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12. その他」による。

- 4. 改質アスファルトシート防水[改3.2.5][改3.2.6] [改3.4.1] ~ [改3.4.4]  
 [改表3.4.1] [改表3.4.2] [改表3.4.3]  
 材料 [改3.4.2]

改質アスファルトシートの種別及び厚さ

■ 改表3.4.1 ~ 改表3.4.3による

□ 図示

粘着層付改質アスファルトシートの種別及び厚さ

■ 改表3.4.1 ~ 改表3.4.3による

□ 図示

屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ

JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 □ 図示

JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。

断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm

工 法	種 別	既存表面 の仕上げ	脱気装置 を設置	改修用ドレ ンを設置	防湿層 の設置	仕上塗料の 種類等※
□ M4AS工法	□ AS-T1 □ AS-T2 □ AS-J2	□	/	/	/	種類 □ A □ B □ C □ D
□ M3AS工法	□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3	/	□	/	/	
□ POAS工法	□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3	/	□	□	/	
□ M3ASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	/	□	/	□	
□ M4ASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	□	□	/	□	
□ POASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	/	□	□	□	
※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」「屋根露出防水」表中の凡例による。						

脱気装置の数量 □ 図示

■ ルーフィング類製造所の指定

脱気装置の種類 □ SUS製

□ 樹脂製

■ ルーフィング類製造所の指定

■ 5. 合成高分子系ルーフィングシート防水

[改表3.1.1] [改3.2.5] [改3.5.1]～[改3.5.4] [改表3.5.1]～[改表3.5.3]

材料 [改3.5.2]

ルーフィングシートの種類及び厚さ ■ 改表3.5.1～改標表3.5.3による

□ 図示

絶縁用シート ■ 発泡ポリエチレンシート □

固定金具の材質及び寸法形状 ■ [改3.5.2](c)(2)による □ 図示

断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ

JIS A 9521(建築用断熱材) □ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号

□ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材1種b、2種b、3種b

□ 図示

JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。

断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm

工 法	種別	シート厚さ(mm)	改修用ド リを設置	脱気装置 を設置	既存防水層(立 上り部)の撤去	仕上塗料の 種類等※
□ POS工法 □ POSI工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	□	□	■	種類 □ A □ B □ C □ D
	■ S(I)-F2	□ 2 ■ 1.5				
	□ S(I)-M1	■ 1.5 □				
	■ S(I)-M2	■ 1.5 □				
	□ S-M3	■ 1.2 □				
■ S4S工法 □ S4SI工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	□	□	■	
	■ S(I)-F2	□ 2 ■ 1.5				
	□ S(I)-M1	■ 1.5 □				
	■ S(I)-M2	■ 1.5 □				
	□ S-M3	■ 1.2 □				
□ S3S工法 □ S3SI工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	□	□	■	
	□ S(I)-F2	■ 2 □				
□ M4S工法 □ M4SI工法	□ S(I)-M1	■ 1.5 □	□	□	□	
	■ S(I)-M2	■ 1.5 □				
	□ S-M3	■ 1.2 □				

※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」の「屋根露出防水」表中の凡例による

■ 高日射反射率防水シート (近赤外域における日射反射率が50%以上の顔料が防水シート層自体に含有されているもの)

脱気装置の数量 □ 図示 ■ ルーフィング類製造所の指定

脱気装置の種類 ■ SUS製 □ 樹脂製 ■ ルーフィング類製造所の指定

既存保護層撤去・防水層非撤去の立上り部等の補修及び処理 (POS・POSI工法)

■ [改3.2.6](d)(3)(viii)による □ 図示

□ PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理

□ 図示 □

□ 種別S-C1の場合のALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部の増張り

□ 図示 □

□ 機械的固定における風圧力に対応した工法 ■ 製造所の指定

□ S-C1 (屋内保護密着) 工法

□ 平場の保護層

□ モルタル塗

モルタル塗厚さ □ 図示

床塗り工法 ■ [改6.15.6](b)(2)及び(3)による □ 図示

下地モルタル塗り ■ [改6.15.6](c)(1)による □ 図示

□ 保護コンクリート

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

□ 立上り部の保護

□ れんが押え

■ JISR1250 (普通れんが<sup>®</sup>及び化粧れんが<sup>®</sup>)

□ 市販品のれんが又は市販品れんが形

□ コンクリートブロック (見え隠れ部)

□ モルタル塗厚さ □ 図示 ■ 7mm以下

□ 保護コンクリート

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

■ 6. 塗膜防水 [改表3.1.1] [改3.6.3] [改表3.6.1] [改表3.6.2]

工 法	種別	改修用ドレンを 設置	脱気装置を 設置	既存表面の仕上 げ塗装を除去	保護層 の設置	仕上塗料の種類等 ※
<input type="checkbox"/> POX工法	<input checked="" type="checkbox"/> X-1 <input type="checkbox"/> X-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	種類 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
<input checked="" type="checkbox"/> L4X工法	<input type="checkbox"/> X-1 <input checked="" type="checkbox"/> X-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> P1Y工法	<input checked="" type="checkbox"/> Y-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示	
<input type="checkbox"/> P2Y工法	<input checked="" type="checkbox"/> Y-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示	

※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」の「屋根露出防水」  
表中の凡例による。

脱気装置の数量  図示  主材料製造所の指定  
脱気装置の種類  SUS製  樹脂製  主材料製造所の指定

■ 7. シーリング [改表3.1.2] [改3.7.2] [改表3.7.1] [改3.7.4]～[改3.7.8]

シーリング改修工法の種類  
 シーリング充填工法  拡幅シーリング再充填工法  
 シーリング再充填工法  ブリッジ工法 (  ホントブレカ張り  エッジソク材張り )  
 シーリング材の種類、施工箇所、目地寸法  
 種類 [改表3.7.1]による  
 施工箇所   図示  
 目地寸法 [改3.7.3]による  
 接着性試験  簡易接着性試験  引張接着性試験

■ 8. とい [改3.8.2] [改表3.8.1] [改3.8.3] [改表3.8.2] [標表13.5.1] [標表13.5.5]

といの材種  図示   
 防露材のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」  
 による。  
 既存のといその他撤去及び降雨等に対する養生  図示   
 鋼管製といの防露巻き（[標表13.5.5]による）  
 掃除口（1系統につき1箇所以上設ける）  
 とい受金物の取付（[標13.5.2.(c)]による）  
 ルーフドレン取付 施工箇所  図示  [改3.8.3](h)による

□ 9. アルミニウム製笠木 [改3.9.2] [改3.9.3] [改表3.9.1] [改表5.2.2]

オープン形式	種 類	幅	板厚 (最小呼称肉厚)	表面処理	取付方法
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 押出250形	<input type="checkbox"/> 240mm <input checked="" type="checkbox"/> 250mm	<input checked="" type="checkbox"/> 1.6mm	<input type="checkbox"/> A-1	改3.9.3(b) による
	<input type="checkbox"/> 押出300形	<input checked="" type="checkbox"/> 300mm	<input checked="" type="checkbox"/> 1.8mm	<input type="checkbox"/> B-1	
	<input type="checkbox"/> 押出350形	<input checked="" type="checkbox"/> 350mm	<input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/> 図示	
	<input type="checkbox"/> 板材折曲げ形	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示 <input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示
<input type="checkbox"/> シール形式	<input type="checkbox"/> 板材折曲げ形	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示 <input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示

既存笠木等の撤去・新規アルミニウム製笠木の下地補修の工法  図示  
 風圧力（H12.5.31 建告1458による計算）及び積雪荷重に対応した工法  図示

□ 10. 長尺金属板葺 [標13.2.2] [標13.2.3] [標表13.2.1]

施工箇所	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> ( )
材料	長尺金属板 <input checked="" type="checkbox"/> JIS G3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) の屋根用コイル ( <input checked="" type="checkbox"/> CGLCCR-20-AZ150 <input type="checkbox"/> ) <input type="checkbox"/> JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ( <input checked="" type="checkbox"/> CGCCR-20-Z25 <input type="checkbox"/> ) <input type="checkbox"/> ( )
及びコイルの種類等	
下葺材料	<input type="checkbox"/> アスファルトフイック <sup>®</sup> 940 (JIS A 6005) <input type="checkbox"/> 改質アスファルトフイック <sup>®</sup> 下葺材 (JIS A 6005) ( <input type="checkbox"/> 一般タイプ <input type="checkbox"/> 複層基材タイプ <input type="checkbox"/> 粘着層付タイプ )
工法	屋根葺形式 <input type="checkbox"/> 立平葺 <input type="checkbox"/> あり掛葺 <input type="checkbox"/> 心木なし瓦棒葺 <input type="checkbox"/> 横葺 <input type="checkbox"/> 図示 屋根葺工法 葺板の寸法・厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 野地板の種類、形状、強度 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 留付け方法 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 雪止め <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 設けない

風圧力（H12.5.31 建告1458による計算）及び積雪荷重に対応した工法  図示

## □ 11. 折板葺 [標13.3.2] [標13.3.3] [標表13.2.1]

施工箇所	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> ( )				
材料	形式	<input type="checkbox"/> 重ね形 <input type="checkbox"/> はぜ締め形 <input type="checkbox"/> かん合形 <input type="checkbox"/> 図示			
	折板の種類	<input checked="" type="checkbox"/> JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) <input type="checkbox"/> JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) <input type="checkbox"/> ( )			
	厚さ(mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 0.6 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> ( )			
	形状(mm)	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 山高 ( ) <input type="checkbox"/> 山ピッチ ( )			
	耐力区分	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 3種 <input type="checkbox"/> 4種 <input type="checkbox"/> 5種			
	軒先面戸板	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			

□ 断熱材張り 種類 : ( )  
 厚さ : ( ) mm  
 防火性能:  30分  なし

風圧力 (H12.5.31 建告1458による計算) 及び積雪荷重に対応した工法  図示

## □ 12. その他 [改8.9.1]~[改8.9.4]、[改3.3.2][改8.11.1]

保護コンクリートの種類  普通コンクリート  軽量コンクリート

保護コンクリートの仕様

普通コンクリート

設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	単位水量の最大値 (kg/m <sup>3</sup> )	水セメント比の最大値 (%)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 185	<input type="checkbox"/> 60	<input type="checkbox"/> 2.3程度	
<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 65	<input type="checkbox"/>	

軽量コンクリート

種類	設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	単位セメント量の最小値 (kg/m <sup>3</sup> )	水セメント比の最大値 (%)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 1種	<input checked="" type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 18	<input checked="" type="checkbox"/> 320	<input checked="" type="checkbox"/> 55	<input checked="" type="checkbox"/> 1.85程度	
<input type="checkbox"/> 2種	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27	<input checked="" type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 340	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

厚さは原則として図示とし、図示がない場合は[改3.3.5] (d) (2)とする。

## (改) 6章 内装改修工事

- 1. 内装改修範囲[改6.1.3]  
 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲  
 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  図示の範囲  
 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  図示の範囲  
 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
 既存のまま ■ 図示の範囲
2. 既存床の撤去並びに下地補修[改6.2.2]  
 ビニル床シート等の除去 ■ 仕上げ材のみ (接着剤とも)  下地モルタルとも  
 (■ 図示の範囲  撤去範囲全て)  
 合成樹脂塗床材等の除去工法  機械的除去工法  目荒し工法  
 改修後の床の清掃範囲 ■ 改修室の全て  図示
3. 既存壁の撤去並びに下地補修[改6.3.2][改4.4.9]  
 間仕切壁撤去に伴う他の構造体等の補修  
 図示 ■ モルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処置 ■ 行う  行わない)
4. 木材の表面仕上げ[改6.5.1][改表6.5.1]  
 見え掛り面の表面仕上げの程度  A種  B種  C種
5. 木材[改6.5.2][改表6.5.2][改表6.5.3][改表6.5.4]  
 木材の含水率 (工事現場搬入時) ■ A種  B種  
 「製材の日本農林規格」による製材  
 下地用針葉樹製材 (「製材の日本農林規格」第7条「下地用製材の規格」による)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
			<input type="checkbox"/> 1級 ■ 2級		
			<input type="checkbox"/> 1級 ■ 2級		

- 造作用針葉樹製材 (「製材の日本農林規格」第4条「造作用製材の規格」による)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率

- 広葉樹製材 (「製材の日本農林規格」第8条「広葉樹製材の規格」による)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
			<input type="checkbox"/> 特級 ■ 1級 <input type="checkbox"/> 2級		■ 10%以下 <input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> 特級 ■ 1級 <input type="checkbox"/> 2級		■ 10%以下 <input type="checkbox"/>

- 「製材の日本農林規格」以外の製材  
 下地、造作及び仕上げに用いる製材

	施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難熱処理	含水率
下地材		<input type="checkbox"/> 杉 <input type="checkbox"/> 松 <input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	
造作材		<input type="checkbox"/> 杉 <input type="checkbox"/> 松 <input type="checkbox"/> ひのき <input type="checkbox"/>		■ A種 <input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	
仕上げ材					<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	

- 代用樹種  
禁止する箇所 ( )

造作用集成材

ホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

- 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材  
 造作用集成材（「集成材の日本農林規格」第3条「造作用集成材の規格」による）

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質
			<input checked="" type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/>
			<input checked="" type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/>

- 化粧ばり造作用集成材（「集成材の日本農林規格」第4条「化粧ばり造作用集成材の規格」による）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級
					<input checked="" type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/>

- 化粧ばり構造用集成柱（「集成材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成柱の規格」による）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)

- 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

- 造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				<input checked="" type="checkbox"/> 15%以下 <input type="checkbox"/>

- 化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						<input checked="" type="checkbox"/> 15%以下 <input type="checkbox"/>

- 化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率
					<input checked="" type="checkbox"/> 15%以下 <input type="checkbox"/>

造作用単板積層材

ホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

- 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

- 造作用単板積層材（「単板積層の日本農林規格」第3条「造作用単板積層材の規格」による）

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理
		<input type="checkbox"/> 天然木化粧加工 <input type="checkbox"/> 塗装加工 <input type="checkbox"/> 加工無し ( <input type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/> 3等 )	<input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
		<input type="checkbox"/> 天然木化粧加工 <input type="checkbox"/> 塗装加工 <input type="checkbox"/> 加工無し ( <input type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/> 3等 )	<input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない





□ 耐動荷重性床シート

種類	色柄	厚さ (mm)	継目
<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 2.0 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 熱溶接 <input type="checkbox"/> 突付け <input type="checkbox"/>

JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、すべり性試験、磨耗試験、層間はく離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと。

□ 防滑性床シート及び床タイル

種類	色柄	厚さ (mm)	継目	床材の表面
<input type="checkbox"/> 床シート <input type="checkbox"/> 床タイル	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 2.0 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 熱溶接 <input type="checkbox"/> 突付け <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> エンボス形状 <input type="checkbox"/> 硬質粒子配合 <input type="checkbox"/>

□ ビニル幅木

厚さ (mm)	高さ (mm)
<input checked="" type="checkbox"/> 1.5以上 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/>

□ ゴム床タイル

種類	色柄	厚さ (mm)						
<input type="checkbox"/> 天然ゴム <input type="checkbox"/> 合成ゴム	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 接着材

接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。  
 接着剤の種類 施工箇所の下地がセメント系及び木質系 ■ [改表6.8.1] による。  
 施工箇所の下地が上記以外 □ 図示  
 下地の工法 ■ [改6.8.3(a)(1)及び(2)] の工法による。 □ 図示

□ 15. カーペット敷き [改6.9.3] [改6.9.4]

□ 織じゅうたん

種別	パイル形状	織り方	帯電性
<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種	<input type="checkbox"/> カットパイル <input type="checkbox"/> ループパイル <input type="checkbox"/> カット/ループパイル	<input type="checkbox"/> ウィルトン <input type="checkbox"/> ダブルフェース <input type="checkbox"/> アキスミンスター	<input type="checkbox"/> 帯電防止 （適用箇所は図示による）

□ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長 (mm)	工法	帯電性
<input type="checkbox"/> カットパイル <input type="checkbox"/> ループパイル <input type="checkbox"/> カット/ループパイル <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 5~7 <input type="checkbox"/> 4~6 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 全面接着工法 <input type="checkbox"/> グリッパー工法	<input type="checkbox"/> 帯電防止 （適用箇所は図示による）

□ ニードルパンチカーペット

厚さ (mm)	帯電性
	<input type="checkbox"/> 帯電防止 （適用箇所は図示による）

□ タイルカーペット

種別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	帯電性	敷き方
<input checked="" type="checkbox"/> 一種 <input type="checkbox"/> 二種	<input type="checkbox"/> カットパイル <input checked="" type="checkbox"/> ループパイル <input type="checkbox"/> カット/ループパイル	<input checked="" type="checkbox"/> 500角 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 6.5 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 帯電防止 （適用箇所は図示による）	<input type="checkbox"/> 平場 <input checked="" type="checkbox"/> 市松敷き <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 階段部分 <input checked="" type="checkbox"/> 模様流し <input type="checkbox"/> 図示

□ 下敷き材 ■ JIS L 3204（反毛フェルト）第2種2号 呼び厚さ8mm □ 図示  
 □ 取付け用付属品（見切り、押え金物の材質、種類及び形状） ■ 図示 □  
 接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。



<input type="checkbox"/> ロックウール吸音フェルト	RW-F	
<input type="checkbox"/> ロックウール吸音ボード	RW-B	<input type="checkbox"/> 1号 <input type="checkbox"/> 2号 <input type="checkbox"/> 3号
<input type="checkbox"/> ロックウール吸音ブラケット	RW-BL	<input type="checkbox"/> 1号 <input type="checkbox"/> 2号
<input type="checkbox"/> グラスウール吸音フェルト	GW-F	<input type="checkbox"/> 10K <input type="checkbox"/> 12K <input type="checkbox"/> 16K <input type="checkbox"/> 20K <input type="checkbox"/> 24K
<input type="checkbox"/> グラスウール吸音ボード	GW-B	<input type="checkbox"/> 32K <input type="checkbox"/> 40K <input type="checkbox"/> 48K <input type="checkbox"/> 64K <input type="checkbox"/> 80K <input type="checkbox"/> 96K
<input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板	DR	<input type="checkbox"/> フラットタイプ <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ
<input type="checkbox"/> 吸音用木毛セメント板	WWCB	<input type="checkbox"/> HW <input type="checkbox"/> MW <input type="checkbox"/> NW
<input type="checkbox"/> 吸音用あなあきせっこうボード	GB-P	
<input type="checkbox"/> 吸音用あなあきファイバーボード	HB-P	
<input checked="" type="checkbox"/> せっこうボード	GB-R	
<input type="checkbox"/> シージングせっこうボード	GB-S	
<input type="checkbox"/> 強化せっこうボード	GB-F	
<input type="checkbox"/> せっこうラスボード	GB-L	
<input type="checkbox"/> 化粧せっこうボード	GB-D	模様 <input type="checkbox"/> 木目 <input type="checkbox"/> 柾目 <input type="checkbox"/> 板目 <input type="checkbox"/> トラバーチン <input type="checkbox"/> 専用下地材有り
<input checked="" type="checkbox"/> 不燃積層せっこうボード	GB-NC	<input checked="" type="checkbox"/> 化粧無（下地張り） <input type="checkbox"/> 化粧有（トラバーチン模様）

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

合板

- 普通合板（「合板の日本農林規格」第4条「普通合板の規格」による）

表板の樹種	板面の品質	接着の程度	処理
<input type="checkbox"/> ラワン	<input checked="" type="checkbox"/> 指定しない	<input type="checkbox"/> 1類	<input type="checkbox"/> 防虫
<input type="checkbox"/> しな	<input type="checkbox"/> 広葉樹 <input type="checkbox"/> 1等 <input type="checkbox"/> 2等 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 2類	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 針葉樹 <input type="checkbox"/> A-A <input type="checkbox"/> A-B <input type="checkbox"/> A-C <input type="checkbox"/> A-D <input type="checkbox"/> B-B <input type="checkbox"/> B-C <input type="checkbox"/> B-D <input type="checkbox"/> C-C <input type="checkbox"/> C-D <input type="checkbox"/> D-D		

- 天然木化粧合板（「合板の日本農林規格」第8条「天然木化粧合板の規格」による）

表板の樹種	処理	接着の程度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 防虫	<input type="checkbox"/> 1類 <input type="checkbox"/> 2類

- 特殊加工化粧合板（「合板の日本農林規格」第9条「特殊加工化粧合板の規格」による）

合板の種類	表面性能	処理	接着の程度
<input type="checkbox"/> マシン化粧合板	<input type="checkbox"/> F	<input type="checkbox"/> 防虫	<input type="checkbox"/> 1類
<input type="checkbox"/> ホリエステル化粧合板	<input type="checkbox"/> W		<input type="checkbox"/> 2類
<input type="checkbox"/> ジェアルフルート化粧合板	<input type="checkbox"/> FW		
<input type="checkbox"/> プリント合板	<input type="checkbox"/> SW		
<input type="checkbox"/> 塩化ビニル化粧合板			
<input type="checkbox"/>			

合板及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

- 遮音シール材

- アクリル系シリング材
- ウレタン系シリング材
- ジョイントコンパウンド

- 下地  軽量鉄骨下地（改6章6節及び6章7節による。）

- 木造下地（改6章5節による。）

- 上記以外の下地（図示）

- 合板類の張付け種別  A種  B種

- せっこうボードの目地工法  継目処理工法  突付け工法  目透し工法

■ 20. 壁紙張り [改6. 14. 2] [改6. 14. 3]

施工箇所	種類					防火性能		
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	不燃	準不燃	難燃
ネイチャーホール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

品質はJISA6921に適合したものとする。  
 全て防かび剤入り接着剤、防かび剤入りシーラーを使用すること。  
 壁紙のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）10項「環境への配慮」による。  
 素地ごしらえ [改表7. 2. 4] [改表7. 2. 5] [改表7. 2. 7]

- モルタル面及びプ<sup>ラ</sup>スター面  RA種  RB種  RC種
- コンクリート面及びALC<sup>ハ</sup> 祢面  RA種  RB種  RC種
- せっこうボ<sup>ー</sup>ト面及びその他ボ<sup>ー</sup>ト面  RA種  RB種  RC種

□ 21. モルタル塗 [改6. 15. 3] [改6. 15. 6]

- 既製目地材
  - 形状  図示
- モルタル床塗り
  - 床の目地の設置  室内縦横1. 8m毎、廊下3. 6m毎  図示
  - 床の目地の工法  押し目地  図示

□ 22. タイル張り [改6. 16. 2] [改6. 16. 3] [改6. 16. 4]

伸縮調整目地の位置  図示  
 陶磁器質タイルの種類

記号	室名等	施工場所				形状	寸法(mm)	吸水率			釉薬	
		内部	外部	壁	床			I	II	III	施釉	無釉
1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(つづき)

記号	役物		色		耐凍害性		見本焼き		試験張り	
	あり	なし	標準	特注	あり	なし	あり	なし	あり	なし
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

接着剤のホルムアルデヒドの放散量

使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

- 耐滑り性（床タイルは、日本建築学会「床の性能評価方法の概要と性能の推奨値（案）」の滑り抵抗係数C. S. R又は滑り抵抗値C. S. R・Bによる）
- 壁タイル張りの工法  改良積上げ張り  壁タイル接着剤張り

□ 23. セルフベリリング材塗り [改6. 17. 2] [改6. 17. 3]

- セルフベリリング材の種類  せっこう系  セメント系
- セルフベリリング材の塗厚  図示

## (改) 7章 塗装改修工事

- 1. 材料 [改7.1.3]  
 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」による。

防火材料の指定  あり  なし

求める性能	施工箇所
不燃材料	
準不燃材料	
難燃材料	

- 2. 下地調整 [改7.2.1] ~ [改7.2.7] [改表7.2.1] ~ [改表7.2.7]  
 既存塗膜の除去範囲（塗り替えてRB種の場合） ■ 塗替え面積の30%  図示

下地面の種類		塗替え			新規
木部	不透明塗料塗り	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
	透明塗料塗り	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種
鉄鋼面		<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
亜鉛めっき鋼面	DP塗り	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
	鋼製建具等	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RC種
	その他	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
モルタル面・プラスター面		<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input type="checkbox"/> RA種
		下地面のひび割れ部の補修 <input type="checkbox"/> 図示			<input checked="" type="checkbox"/> RB種
コンクリート面・ALCパネル面	DP塗り [改表7.2.6]	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
	その他 [改表7.2.5]	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
		下地面のひび割れ部の補修 <input type="checkbox"/> 図示			
コンクリート面・押出成形メント板面	DP塗り [改表7.2.6]	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
	その他 [改表7.2.6]	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種
		下地面のひび割れ部の補修 <input type="checkbox"/> 図示			
せっこうボード面 その他ボード面	<input type="checkbox"/> 継目処理工法	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input checked="" type="checkbox"/> RA種
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> RA種	<input checked="" type="checkbox"/> RB種	<input type="checkbox"/> RC種	<input type="checkbox"/> RA種 <input checked="" type="checkbox"/> RB種

※カラー・塩ビ鋼板面については亜鉛めっき鋼面、塩ビ面については鉄鋼面を準用する。

- 3. 錆止め塗料塗り [改7.3.2] [改7.3.3]  
 塗料種別 [改表7.3.1] [改表7.3.2]

下地面の種類		塗料の種類	
鉄鋼面	EP-G塗り	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> A種	
亜鉛めっき鋼面	EP-G塗り	<input checked="" type="checkbox"/> C種	
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種

塗料塗り [改表7.3.3] [改表7.3.4]

下地面の種類		工程の種類別		
鉄鋼面	新規見え掛り	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	
	新規見え隠れ	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input checked="" type="checkbox"/> C種
亜鉛めっき鋼面	新規鋼製建具等	<input checked="" type="checkbox"/> A種		
	新規その他	<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
	鋼製建具等	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
	その他塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input checked="" type="checkbox"/> C種

※カラー・塩ビ鋼板面については亜鉛めっき鋼面を準用する。

- 4. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) [改7.4.2] [改7.4.5] [改表7.4.1] [改表7.4.3]  
 塗料の種類

使用場所	塗料の種類
屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種
屋外	<input checked="" type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種

塗料塗り

下地面の種類		工程の種類別		
木部	新規 外部	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	
	新規 内部	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
鉄鋼面	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
亜鉛めっき鋼面	塗替え 鋼製建具	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	
	新規、その他塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種

- 5. クリアラッカー塗り (CL) [改7.5.2] [改表7.5.1]  
木部塗りの工程の種類  A種  B種
- 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) [改7.7.2] [改表7.7.1]  
コンクリート面、モルタル面等塗りの工程の種類  A種  B種
- 7. 耐候性塗料塗り (DP) [改7.8.2] [改7.8.4] [改表7.8.1] [改表7.8.3]  
 鉄鋼面上塗りの等級  1級  2級  3級  
 亜鉛めっき鋼面上塗りの等級  1級  2級  3級

下地面の種類		工程の種類		
鉄鋼面	新規	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
亜鉛めっき鋼面	新規	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
コンクリート面、押出成形セメント板面	新規	<input type="checkbox"/> A-1種	<input type="checkbox"/> B-1種	<input type="checkbox"/> C-1種
	下地調整はRA種とする			
	塗替え	<input type="checkbox"/> A-1種	<input type="checkbox"/> B-1種	<input type="checkbox"/> C-1種
		<input type="checkbox"/> A-2種	<input type="checkbox"/> B-2種	<input type="checkbox"/> C-2種

※カラー・塩ビ鋼板面については亜鉛めっき鋼面、塩ビ面については鉄鋼面を準用する。

- 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) [改7.9.2] ~ [改7.9.5] [改表7.9.1] ~ [改表7.9.4]

下地面の種類		工程の種類		
コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
	しみ止め	<input checked="" type="checkbox"/>	下塗りをしみ止めシーラーとする	
木部	新規	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
鉄鋼面	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
亜鉛めっき鋼面	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種

- 9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) [改7.10.2] [改表7.10.1]

下地面の種類		工程の種類		
コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
	しみ止め	<input checked="" type="checkbox"/>	下塗りをしみ止めシーラーとする	
		<input type="checkbox"/>		

- 10. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) [改7.11.2] [改表7.11.1]

下地面の種類		工程の種類		
コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種
		下地調整 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種		

- 11. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) [改7.12.2] [改表7.12.1]

下地面の種類		工程の種類		
木部	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	

- 12. ラッカーエナメル塗り (LE) [改7.13.2] [改表7.13.1]

下地面の種類		工程の種類		
木部	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	

- 13. 木材保護塗料塗り (WP) [改7.15.2] [改表7.15.1]

下地面の種類		工程の種類		
木部	新規	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	
	塗替え	<input type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> B種	

## (改) 8章 耐震改修及びその他改修における鉄骨工事

- 1. 鉄骨の製作工場および施工管理技術者 [改8. 1. 5]  
 建築基準法 7 7 条の 5 6 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センターまたは(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場で下記のグレード以上の工場とする。なお、M・H・Sグレードには施工管理技術者を適用する。  
 Jグレード  Rグレード  Mグレード  Hグレード  Sグレード
- 2. 鉄骨標準図の取り扱い  
 図示以外は鉄骨標準図(1)、(2)による。
- 3. 鋼材の種類 [改8. 2. 8] [改表8. 2. 7]  
 材質はJIS等の規格品、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼  
 形状、寸法、種類  図示  
 使用箇所  図示
4. 材料試験等 [改8. 2. 13]  
 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験(JIS G 0901)
- 5. 工作図への記載事項[改8. 13. 2]  
 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
6. 仮組 [改8. 13. 10]  
 仮組の実施  適用する(施工計画書を作成のこと)
- 7. 摩擦面の性能及び処理[改8. 14. 2]  
 すべり係数試験 (方法、摩擦面の状態)
- 8. 高力ボルト [改8. 2. 9] [改8. 14. 2] ~ [改8. 14. 9]  
 トルシア形高力ボルト ボルトの径  図示  
 認定セットの種類  2種(S10T)   
 J I S形高力ボルト ボルトの径  図示   
 認定セットの種類  2種(F10T)   
 締付けでボルトの長さがねじの呼びの 5 倍を超える場合の回転量  図示  
 溶融亜鉛めっき高力ボルト ボルトの径  図示  
 認定セットの種類  1種(F8T相当)
- 9. 普通ボルト  
 ボルトの径  図示
10. 溶接技能資格者 [改8. 15. 3]  
 溶接技能者に対するの技量付加試験  行う  行わない
- 11. 溶接材料準備 [改8. 15. 4]  
 開先形状  図示
12. 溶接施工 [改8. 15. 7]  
 エンドタブの取扱い  
 見え掛りとなる部分は切除する   
 板厚が異なる場合の突合せ継手で低応力高サイクル疲労を受ける部位  
 クレーンガーター等の低応力高サイクル疲労を受ける場合  
 スカラップの形状  
 ノンスカラップ及び改良型スカラップ  従来型スカラップ

■ 13. 溶接部の試験 [改8.15.11] [改8.15.12] [標7.6.11]

試験の種別	試験箇所	抜取方法
<input checked="" type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 完全溶込み溶接部 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> [改8.15.11]による <input type="checkbox"/>

超音波探傷試験については、『鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準・同解説』による。

工場溶接 平均出検品質限界 (AOQL)  4.0%   
 検査水準  第6水準  
 現場溶接 平均出検品質限界 (AOQL)  4.0%

■ 14. 錆止め塗装 [改8.17.3]

鉄筋鉄骨コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面  
 種別  [改表7.3.1]のA種による  
 耐火被覆材の接着する面  図示

15. 耐火被覆 [改8.17.1] ~ [改8.17.9]

種別	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)
<input type="checkbox"/> 耐火材吹付け	<input type="checkbox"/> 乾式吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 半乾式吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 湿式ロックウール <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 耐火板張り	<input type="checkbox"/> 繊維混入ケイ酸カルシウム板 <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 耐火材巻付け	<input type="checkbox"/> 高断熱ロックウール <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> ラス張りモルタル塗り	-----	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

材料及び工法は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能	適用箇所 (部位・部分)
<input type="checkbox"/> 30分耐火	
<input type="checkbox"/> 1時間耐火	
<input type="checkbox"/> 2時間耐火	
<input type="checkbox"/> 3時間耐火	
<input type="checkbox"/> 45分準耐火	
<input type="checkbox"/> 1時間準耐火	
<input type="checkbox"/>	

16. 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 [改8.20.4]

摩擦面処理  ブラスト処理 (表面粗度50 μ m R z 以上)  
 リン酸塩処理  
 ブラスト以外の特別な処理とする場合の処理方法  図示   
 すべり耐力等の確認方法  図示

17. 材料試験等 [改8.2.13]

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験  
 JIS G 0901による

## (改) 8章 耐震改修及びその他改修におけるあと施工アンカー工事

- 1. あと施工アンカー [改8.2.4]
- 金属拡張系アンカー (耐震改修用)
- |             |             |                          |
|-------------|-------------|--------------------------|
| 引張耐力、せん断耐力  | ■ 図示        | <input type="checkbox"/> |
| アンカー径・埋込み長さ | ■ 図示        | <input type="checkbox"/> |
| アンカーのセット方式  | ■ 本体打込み式改良型 | <input type="checkbox"/> |
| 接合筋の種類、径、長さ | ■ 図示        | <input type="checkbox"/> |
- 接着系アンカー ( 接着剤の品質: ■ 有機系  )
- |             |               |                          |
|-------------|---------------|--------------------------|
| 引張耐力、せん断耐力  | ■ 図示          | <input type="checkbox"/> |
| アンカーの種類     | ■ カプセル型回転・打撃式 | <input type="checkbox"/> |
| アンカー径、埋込み深さ | ■ 図示          | <input type="checkbox"/> |
| アンカー筋の種類    | ■ 図示          | <input type="checkbox"/> |
| アンカー定着長さ    | ■ 図示          | <input type="checkbox"/> |
| 性能確認試験      | ■ 図示          | <input type="checkbox"/> |
- 2. 埋め込み配管等の探査 [改8.12.2]
- |    |                                 |                             |
|----|---------------------------------|-----------------------------|
| 範囲 | ■ あと施工アンカー部分全て                  | <input type="checkbox"/> 図示 |
| 方法 | ■ 鉄筋探知機により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 |                             |
|    | <input type="checkbox"/>        |                             |
- 3. 施工確認試験 [改8.12.5]
- |                   |                             |                          |
|-------------------|-----------------------------|--------------------------|
| あと施工アンカーの施工後の確認試験 | ■ 引張試験                      | <input type="checkbox"/> |
| 引張試験における確認強度      | <input type="checkbox"/> 図示 | <input type="checkbox"/> |

## 附則 その他

### 特記事項

### 関連章

- 1. 工事概要の特記事項を適用する。
  
- 2. 工事用電力費について  
構内既存施設 利用できる 有償（ ¥                      円）施設へ支払う）
  
- 3. 工事用用水費について  
構内既存施設 利用できる 有償（ ¥                      円）施設へ支払う）
  
-

# 工事写真撮影要領

地方独立行政法人大阪市博物館機構

# 工事写真撮影要領

## I. 一般事項

### 1. 総則

- (a) 工事写真の作成については本要領により取り扱うものとする。
- (b) 受注者はこの要領に基づき工事の記録写真を撮影しなければならない。
- (c) この要領は新築又は増改築工事等に適用するものとする。また、これら以外の改修工事についてもこの要領に準じて撮影するものとする。ただし、撮影箇所、写真枚数等は監督職員と協議のうえ定めるものとする。

### 2. 写真の種別

この要領にいう工事写真とは次に示すものをいう。

- (1) 工事着手前の写真
- (2) 工事工程写真
- (3) 完成写真

### 3. 写真の形状

工事着手前の写真及び工程写真の大きさはサービス判（7.5cm×11.0cm程度）とする。  
完成写真はカラー写真とし、大きさはキャビネ判（11.0cm×16.5cm程度）とする。

### 4. デジタルカメラ等の規格

- (a) デジタルカメラは高画質（文字・数字・色等撮影対象が識別できること）で200万画素数程度以上のものとする。
- (b) プリンターの解像度も上記の高画質を満たすこと。
- (c) デジタルカメラ撮影に使用するソフトウェアは、画像をソフトウェアに登録後、画像処理が行えないものとし、工事記録写真撮影要領を満たすものとする。

### 5. 写真の整理

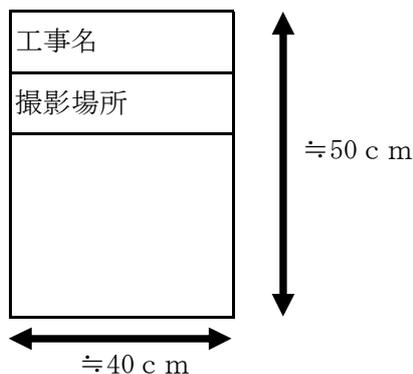
- (a) 工程写真（着工前の写真を含む）と完成写真はそれぞれ別冊にしてアルバムに整理し、CD-R又はDVD-Rを添えて、工程写真は1部、完成写真は3部提出する。
- (b) 工事写真は工事着手前から完成までの経過が把握できるように、一括して順序よくアルバムに整理する。特に工程写真はそれぞれの工事の施工順に従い整理、編集し、写真のみでは施工内容が不明確な場合は、説明図や説明文を添付し、より分かりやすくすると良い。
- (c) アルバムは、A4サイズ（30cm×21cm程度）の専用紙（プリンターメーカーの市販品）で製本したものとする。なお、1冊の厚みは3cm程度とし、それ以上になる場合は分冊とする。
- (d) アルバムの表紙及び背表紙には工事名称を明記する。また、アルバムの第1項には工事の概要（構造規模・工事期間等）、受注者名、現場代理人名等を記入する。

## II. 準備及び撮影要領

### 1. 用具

撮影に当たっては所定の用具のほか、特に次のものを準備し目的物に添える。

- (1) 図に示すような形状・寸法の黒板等を作成し、必要事項を記入のうえ写真の一部に写し込む。



## 工事写真撮影要領

- (2) 目的物に添えるスケールは、箱尺又は幅広のスケールとし目盛の表示が大きく、使用に際してたるまないものとする。
2. 撮影方法
  - (1) 撮影距離は目的物の全体が撮影されるよう、かつ、写し込んだ黒板の文字及びスケールの目盛が読み取れるように工夫する。また、撮影角度などにも十分注意する。
  - (2) 各部の撮影には黒板に設計図面に表示されている符号などを記入して添えるが、同符号でまぎらわしいものは、X・Y方向の通り名及び説明図などを添記する。  
例：(B.3~4) 2G1 …… B通り③~④通り間の2G1  
(B.3) 1C1 …… B通り③通り交点の1C1
  - (3) 地下工事、夜間工事、室内等の撮影については、照明に注意し鮮明な写真が撮れるようにする。
  - (4) 色彩の色別を必要とするものは、カラー写真とする。
3. 撮影時期  
工事は常に進捗しているので撮影時期を失わないように注意し、中間施工状況の写真以外は、各工程ごとに監督職員の検査を受け合格した時点の状態を撮影し、作業途中のものであってはならない。
4. 建設副産物の処理状況の撮影  
請負金額100万円以上建設工事（建設資材の利用量が、土砂や砕石は10m<sup>3</sup>、塩化ビニル管・継手は1,000kg、その他は1トンに満たない工事、建設副産物の発生・搬出量が、コンクリート塊は10トン、廃塩化ビニル管・継手及び廃プラスチックは1,000kg、建設発生土は10 m<sup>3</sup>、その他は1トンに満たない工事は除く）については、建設副産物の処理状況を把握するため、下記の内容の記録写真の撮影を行う。
  - (1) 撮影内容は、積み込み状況、運搬状況、現場内利用状況、工事間利用状況、ストックヤードの状況、受入地の状況、再資源化施設の状況、最終処分地の状況、分別状況、再利用状況等について解るものとする。
  - (2) 運搬状況の撮影に当たっては、積み込み状況、副産物の内容、運搬車両のナンバープレート等を入れて撮影する。
  - (3) 現場内利用や工事間利用の状況の撮影に当たっては、工事個所が特定できるよう周辺の背景を入れて撮影する。
  - (4) 再生資源化施設の状況や最終処分状況（直接最終処分する場合に限る）の撮影に当たっては、施設名称看板等を入れて撮影する。
5. 工事写真撮影時期と撮影箇所  
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による。  
(撮影内容の参考：一般社団法人 公共建築協会 営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説/工事写真の撮り方
6. 参考写真
  - (a) 図面と現場が不一致であることが判明したときは、実測結果等をもとに相違が確認できるよう撮影する。
  - (b) 工事施工中に工事現場で災害・事故等が発生した場合には、大小にかかわらずその状況を撮影しすみやかに提出する。
  - (c) 上記の各工程のほか監督職員が特に指示した場合や、受注者が自主的に工事記録写真を撮影をする場合も本要領に準じて行う。
7. 完成写真
  - (a) 建物の外景は、各棟毎に4面から全景を撮影する。
  - (b) 屋内写真は内部の各所、及び監督職員の指示する箇所を撮影する。

# 化学物質の室内濃度測定 仕様書

地方独立行政法人大阪市博物館機構

# 化学物質の室内濃度測定仕様書

## I. 化学物質の濃度測定について

- 測定箇所  
1章（一般共通事項）16項「化学物質の室内濃度測定」の対象室名による
- 測定物質  
1章（一般共通事項）16項「化学物質の室内濃度測定」の測定物質による
- 採取・分析方法  
拡散方式（測定バッジ、バッジサンプラー等）にて採取し、検査機関にて分析を行う。  
分析は「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」（厚生労働省）に準拠して行うこと。
- 採取条件  
1) 室の中央付近の床から、概ね1.2mから1.5mまでの高さにおいて採取を行う。  
2) 室の全ての窓及び扉（造り付け家具、物入れその他これらに類するものの扉を含む。）を30分開放し、その後、窓及び扉（屋外に面するものに限る。）を5時間以上閉鎖し、その状態で検体を設置し、24時間（又は8時間）の測定を行う。8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるように測定を行う。また、室への出入りは最小限にとどめ、かつ迅速に行う。
- 測定計画書  
測定前に、監督職員に測定計画書を提出する。
- 測定結果の報告  
1) 採取にあたっては、採取年月日、採取条件等を記録しておき、測定結果について、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。  
2) 測定結果は、速報（FAX等にて可）を測定日より原則として3日以内に報告し、報告書は後ほど速やかに提出を行うこと。  
3) 報告書は、別紙4・5の「化学物質の室内濃度測定結果等報告書」を、各測定物質・各室毎に作成すること。  
※厚生労働省の公表している濃度指針値(ppmは室温が25度の換算値)
  - ホルムアルデヒド : 100  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.08ppm
  - トルエン : 260  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.07ppm
  - キシレン : 870  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.20ppm
  - スチレン : 220  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.05ppm
  - エチルベンゼン : 3800  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.88ppm
  - パラジクロロベンゼン : 240  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.04ppm
  - アセトアルデヒド : 48  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  0.03ppm
- 工事完成後の測定結果に対する措置  
測定結果が指針値を超えていた場合は、以下の措置を行う。
  - 発生原因の特定及び除去等の対策に努める。
  - 指針値を超えていた有機化合物について再測定を行う。

## II. 化学物質の室内濃度測定結果等報告書作成要領

- 「化学物質の室内濃度測定結果報告書（以下「報告書」という。）」を作成するにあたっては、以下の内容に従い作成し、作成後、根拠資料等の関係資料を添えて、監督職員に提出すること。
- 報告書の作成については、別紙5をもとに作成を行うこと。なお、以下の項目については、下記の注意事項を遵守し報告書の作成を行うこと。
  - 測定結果
    - 測定物質  
以下より選択し、番号・測定物質名を記入する。

1 ホルムアルデヒド	2 トルエン	3 キシレン
4 スチレン	5 エチルベンゼン	6 パラジクロロベンゼン
7 アセトアルデヒド		
    - 測定物質の濃度  
測定濃度を記入する。（桁数は測定結果数値の有効桁数による。）
  - 概要
    - 工事種別  
以下より選択し、番号・工事種別を記入する。

1 新築	2 増築	3 改造	4 その他 ( )
------	------	------	-----------
    - 構造  
以下より選択し、番号・構造を記入する。

1 鉄筋コンクリート造	2 鉄骨造	3 軽量鉄骨造
4 コンクリートブロック造	5 その他 ( )	

# 化学物質の室内濃度測定仕様書

## 3) 測定室概要

- 開口部の向き  
以下より選択し、番号・開口部の向きを記入する。（開口部が2ヶ所以上ある場合は、面積の大きい開口部の向きとし、同一面積の場合は南西に近い開口部の向きを記入する。）

1 東	2 南	3 西	4 北	5 南西	6 南東	7 北西	8 北東
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------

- 開口部の数  
測定した室における外気に面する開口部の数を記入する。（換気口、ガラリ、出入口は算入しない。）
- 開口部の大きさ  
「開口部の向き」で選択した開口部について、その寸法を記入する。（単位mm）
- 測定室の換気設備  
以下より選択し、番号・測定室の換気設備を記入する。

1 なし	2 局所換気設備あり	3 全般換気設備あり
4 局所及び全般換気あり		

- 測定室の冷暖房設備  
以下より選択し、番号・測定室の冷暖房設備を記入する。

1 なし	2 エアコン	3 その他 ( )
------	--------	-----------

## 4) 測定室の仕様

- サッシの気密性等級  
以下より選択し、番号・サッシの気密性等級を記入する。

1 A-1	2 A-2	3 A-3	4 A-4
-------	-------	-------	-------

- 内装ドア  
以下より選択し、番号・内装ドアを記入する。

1 スチール	2 普通合板	3 普通合板・壁紙
4 普通合板(FcO)・ふすま紙	5 普通合板・ビニル系ふすま紙	
6 ふすま紙	7 化粧合板	8 パーティクルボード
9 アコーディオンドア (ビニル系)	10 スクールパーティション	11 その他 ( )

- 床下地  
以下より選択し、番号・床下地を記入する。

1 普通合板	2 ラワン合板	3 型枠用合板	4 複合合板
5 構造用合板	6 耐水合板	7 杉板下地	8 パーティクルボード
9 コンクリート・モルタル下地	10 フリーアクセスフロア		
11 発砲プラスチック系床下地材	12 その他 ( )		

- 床仕上げ  
以下より選択し、番号・床仕上げを記入する。

1 畳	2 複合フローリング	3 集成材フローリング
4 フローリングブロック	5 ビニル床シート	6 ビニル床タイル
7 合成樹脂塗床	8 カーペット	9 タイル
10 化粧合板	11 モルタル金鍍	12 その他 ( )

- 壁下地  
以下より選択し、番号・壁下地を記入する。

1 コンクリート下地	2 コンクリート型枠兼用断熱複合パネル		
3 コンクリート下地石膏ボード張	4 コンクリート下地ラワン合板		
5 ALC板下地GL工法石膏ボード張	6 LGS下地石膏ボード張		
7 木パネル下地石膏ボード張	8 木下地石膏ボード張		
9 木製壁パネル間仕切り	10 普通合板	11 けい酸カルシウム板	
12 石膏ボード	13 しな合板	14 ラワン合板	15 その他 ( )

- 壁下地用接着剤  
以下より選択し、番号・壁下地用接着剤を記入する。

1 なし	2 釘	3 ネジ	4 酢酸ビニル樹脂形溶剤形
5 酢酸ビニル樹脂形エマルジョン形	6 合成ゴム系溶剤形	7 エポキシ樹脂系	
8 ウレタン樹脂系	9 変成シリコン樹脂系	10 その他 ( )	

- 壁仕上げ  
以下より選択し、番号・壁仕上げを記入する。

1 ビニルクロス	2 けい酸カルシウム板	3 石膏ボード
4 シーリング石膏ボード	5 プリント合板	6 天然木化粧合板
7 塩ビ合板	8 アクリルリシン吹付	9 木毛セメント板
10 複層塗材	11 EP	12 SOP
13 タイル	14 なし	15 その他 ( )

## 化学物質の室内濃度測定仕様書

- ・ 壁紙用接着剤  
以下より選択し、番号・壁紙用接着剤を記入する。

1 壁紙施工用澱粉系接着剤	2 なし	3 その他 ( )
---------------	------	-----------
  - ・ 天井下地  
以下より選択し、番号・天井下地を記入する。

1 コンクリート下地	2 軽量鉄骨下地	3 木下地
4 木毛セメント板	5 その他 ( )	
  - ・ 天井仕上げ  
以下より選択し、番号・天井仕上げを記入する。

1 複層仕上塗材	2 薄付け仕上塗材	3 化粧石膏ボード
4 けい酸カルシウム板	5 その他 ( )	
  - ・ 断熱材  
以下より選択し、番号・断熱材を記入する。

1 硬質ウレタンフォーム現場発砲	2 硬質ウレタン複合断熱ボード	
3 硬質ウレタンフォーム保温材	4 発砲ウレタンフォーム保温材裏打ち石膏ボード	
5 フォームポリスチレンボード	6 ロックウール	7 グラスウール
8 発砲プラスチック保温材裏打ちウツ合板	9 発砲プラスチック保温材裏打ち石膏ボード	
10 ポリスチレンフォーム	11 ポリスチレンフォーム保温材	
12 ポリスチレンフォーム保温材裏打ち石膏ボード		
13 木毛セメント板	14 なし	15 その他 ( )
  - ・ 断熱材用接着剤  
以下より選択し、番号・断熱材用接着剤を記入する。

1 エチレン酢酸ビニル系	2 エポキシ樹脂系	3 再生ゴム系溶剤
4 酢酸ビニル樹脂系	5 ゴム系・酢酸ビニル樹脂系併用	
6 一液無溶剤型変成シリコン系	7 クロロプレン系溶剤	8 なし
10 その他 ( )		
  - ・ 塗料  
以下より選択し、番号・塗料を記入する。

1 SOP	2 CL	3 NAD	4 DP	5 EP-G	6 EP
7 EP-T	8 UC	9 OS	10 WP	11 マスチック	
12 薄付け仕上塗材	13 厚付け仕上塗材	14 複層仕上塗材			
15 軽量骨材仕上塗材	16 その他 ( )	17 なし			
- 5) 採取条件
- ・ 分析法  
以下より選択し、番号・分析法を記入する。

1 高速液体クロマトグラフ法	2 ガスクロマトグラフ法
3 DNPH誘導体化固相吸着-加熱脱着法	4 固相吸着-溶媒抽出法
5 固相吸着-加熱脱着法	6 その他 ( )
  - ・ 採取年月日、採取時刻  
採取が2日以上に渡る場合は、採取開始日(時刻)及び採取終了日(時刻)を記入する。(記載例: H230801-H230802、13:30~13:30)
  - ・ 室温、相対湿度  
採取開始時刻から採取終了時刻までの室温・平均相対湿度を記入する。
  - ・ 天候  
以下より選択し、番号・天候を記入する。

1 晴れ	2 曇り	3 雨	4 雪	5 晴れ/曇り
6 曇り/雨	7 曇り/雪	8 雨/雪	9 その他 ( )	
  - ・ 日照の状況  
以下より選択し、番号・日照の状況を記入する。(居室内に日影が明確にできる場合は「あり」、明確でない場合は「なし」とする。)

1 あり	2 なし
------	------
  - ・ 採取前(採取中)の開口部の開閉状況  
以下より選択し、番号・採取前(採取中)の開口部の開閉状況を記入する。

1 全て密閉	2 一部開放	3 全部開放
--------	--------	--------
  - ・ 換気設備の使用状況  
以下より選択し、番号・換気設備の使用状況を記入する。

1 使用しない	2 使用した
---------	--------
  - ・ 冷暖房設備の使用状況  
以下より選択し、番号・冷暖房設備の使用状況を記入する。

1 使用しない	2 暖房使用	3 冷房使用
---------	--------	--------

# 《測定計画書》

(測定物質毎に記入する)

1. 施設名 \_\_\_\_\_

2. 測定室	階	室	階	室
	階	室	階	室
	階	室	階	室
	階	室	階	室
	階	室	階	室
	階	室	階	室

3. 測定物質 (○で囲む)

- ・ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ キシレン ・ スチレン ・ エチルベンゼン
- ・パラジクロロベンゼン ・ アセトアルデヒド

4. 測定器具の名称 \_\_\_\_\_

5. 分析法 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

6. 測定開始日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

タイムコース													(該当する時間帯に○をつける)		
時刻	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00			
	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00			
換気 (月日)															
閉鎖 (月日)				○											
採取 (月日)															
(月日)															
(月日)															

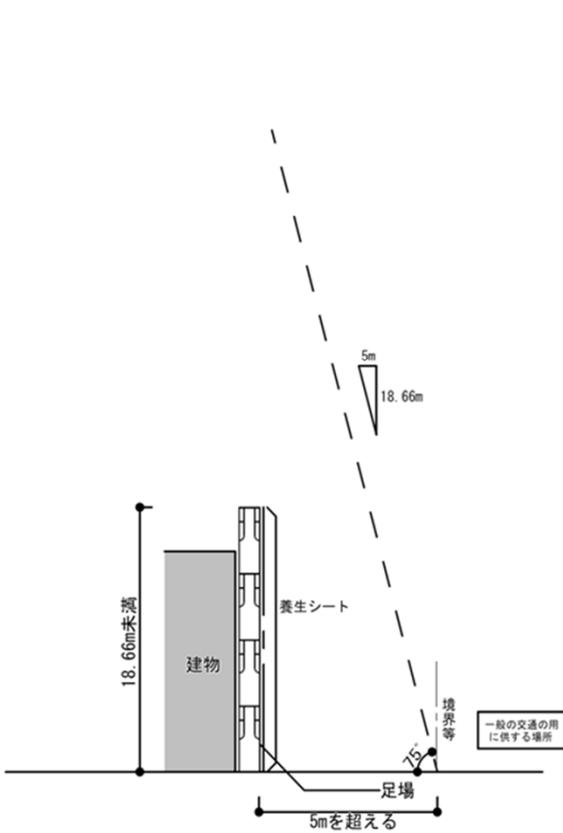






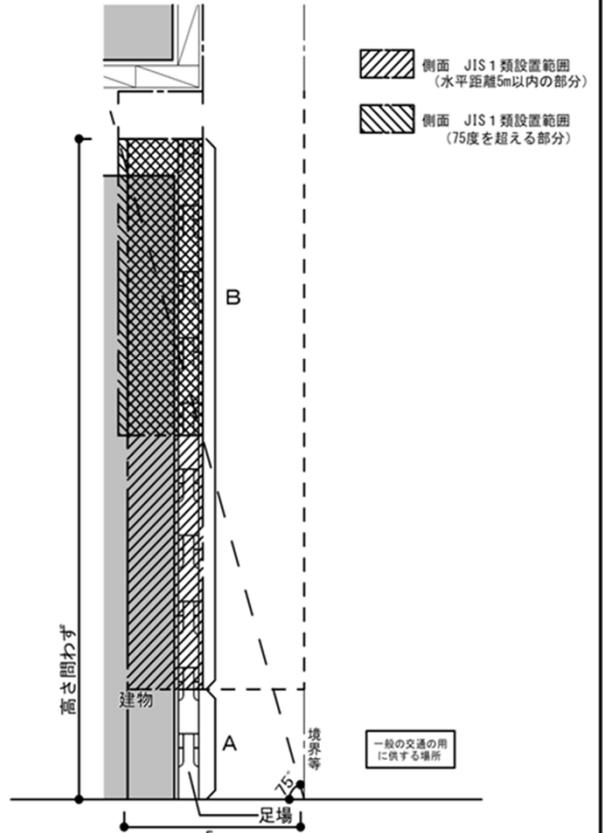
仮設特記仕様書【養生シート】

①水平距離5mを超え足場高さ18.66m未満の場合



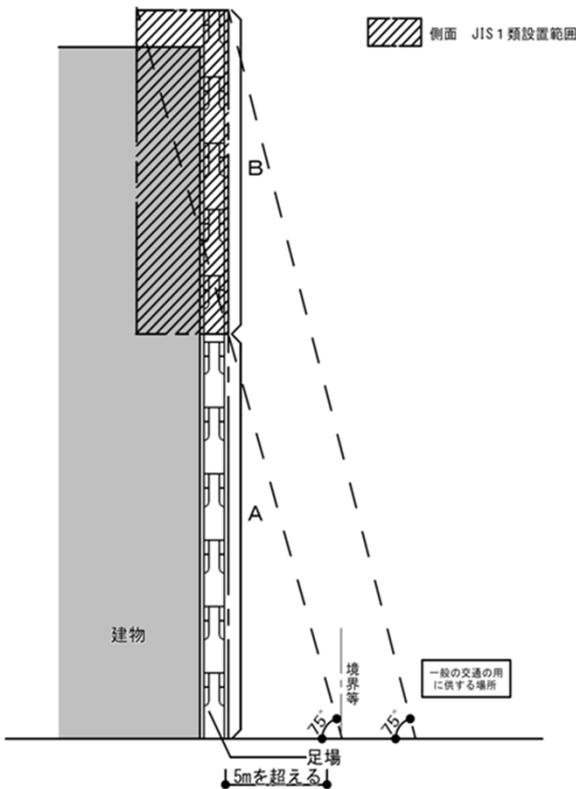
養生シート等の種類 JIS 2類

②水平距離5m以内の場合



養生シート等の種類 Aの範囲 (GLから仮囲い等<sup>※</sup>の高さまで) JIS 2類  
Bの範囲 JIS 1類

③ ①, ②以外の場合



養生シート等の種類 Aの範囲 JIS 2類  
Bの範囲 JIS 1類

注記

- ・施工範囲は施工計画書を作成し、監督職員の確認の上決定すること。
- ・一般の交通の用に供する場所とは、工事関係者以外の者が容易に立ち入れる場所のことをいう。
- ・養生シート等とは、ネット状養生シート、養生シートのことをいう。

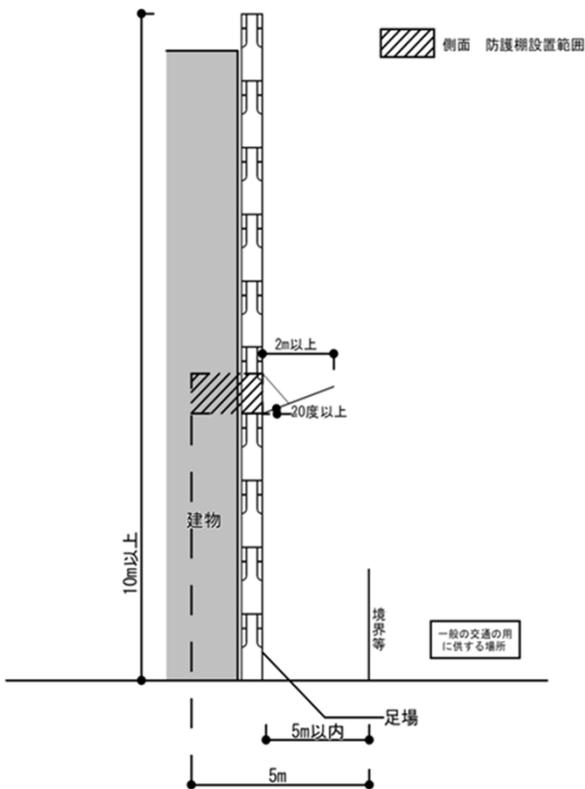
※仮囲い等とは、そのもので落下物による危害の防止を図ることが出来るものをいう

例：鋼板塀

ガードフェンスのメッシュ部分に養生シートJIS 1類を張った場合  
CB塀、コンクリート塀 など

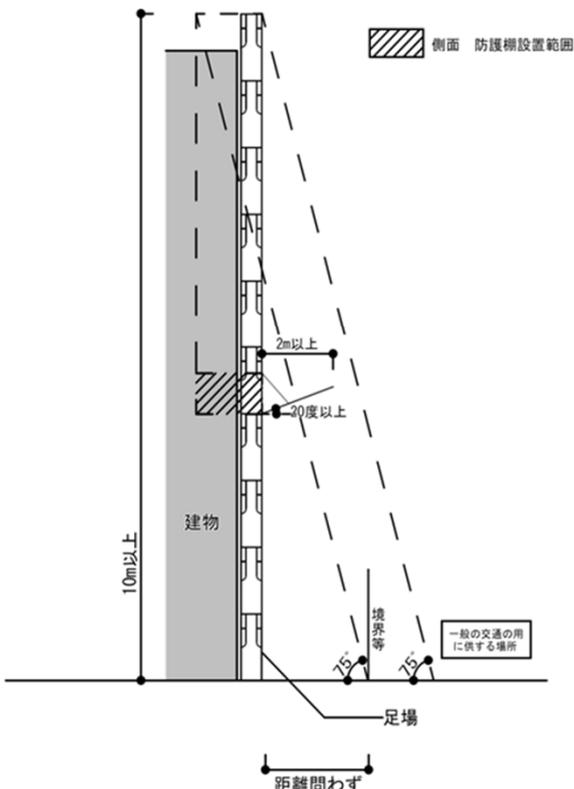
# 仮設特記仕様書【防護棚】

①通常の設置方法（水平距離5m以内）



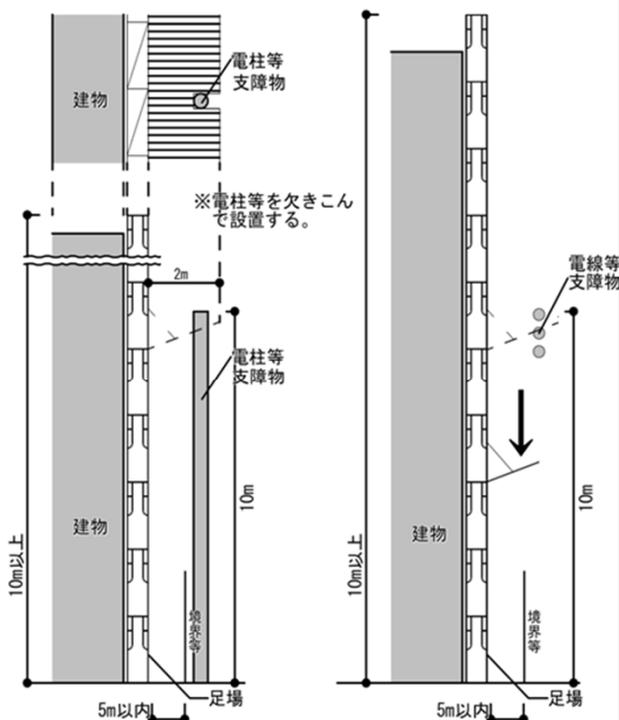
10m以内で1段以上（20m以上は2段以上）設置する

②通常の設置方法（ふ角75度）



10m以内で1段以上（20m以上は2段以上）設置する

③建築工事公衆災害防止対策要綱に定める設置基準を満たすことができない場合



上図のように防護棚を欠きこんで設置できない場合は監督職員との協議による。

## 注記

- ・①又は②のどちらかの場合でも防護棚を設置しなければならない。
- ・①及び②のどちらにも該当する場合、防護棚の回りこみ設置範囲は、①及び②で範囲が広い方を設置範囲として設定する。
- ・施工範囲は施工計画書を作成し、監督職員の確認の上決定すること。
- ・一般の交通の用に供する場所とは、工事関係者以外の者が容易に立ち入れる場所の事をいう。